

2029年にアニメ放送50周年 作品・イベントなどの記念企画を続々展開

「ガンダム50周年プロジェクト」始動

【ガンダムカンファレンス 2026 SPRING 本日開催 主な発表】

ガンダム 50周年プロローグムービー『少年とガンダム』初公開／『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM ZERO』劇場公開決定
実写映画版『GUNDAM（仮称）』ジム・ミツル監督のメッセージ動画を初公開／『機動戦士ガンダム』リマスター制作決定
“ファンの皆さまと共に創る”ガンダムイベント「GUNDAM-Con」27年1月幕張で開催／4月7日を「ガンダムの日」に制定 など

バンダイナムコグループの横断プロジェクト「ガンダムプロジェクト」は、2029年にガンダムシリーズがアニメ放送開始から50周年を迎えることを記念し、「ガンダム50周年プロジェクト」を始動します。

ガンダムシリーズは、『機動戦士ガンダム』が1979年4月7日にアニメ放送を開始してから、90作品以上が制作されています。作品を中心に、商品、ゲーム、アミューズメント、音楽など多彩な事業領域を展開し、世界中のファンの皆さまに支えられて成長してきました。「ガンプラ」は累計出荷数8億個を突破、「ガンダムカードゲーム」は6.3億枚以上を発行。2025年にリリースされた「SDガンダム ジージェネレーション エターナル」は1年間で全世界800万ダウンロードを超えるなど、さまざまなタッチポイントでファンの方とつながり続けています。

2029年のガンダム50周年に向けては、作品展開や、商品・サービス、イベントなど、IPの可能性を拡大する施策をさらに加速させてまいります。

ガンダムは50周年のその先へ。ファンの皆さまとともにガンダムを未来につなげる新しいチャレンジを続けてまいります。

■発表会「ガンダムカンファレンス 2026 SPRING」視聴 URL : <https://youtu.be/GLQCQDAOK6c>

2026年5月15日にガンダムカンファレンスを開催し、さまざまな発表を行いました。以下よりご紹介します。

『少年とガンダム | 機動戦士ガンダム 50周年 -Road to 50- プロローグムービー』を初公開

「ガンダム50周年プロジェクト」の始動にあたり、『機動戦士ガンダム』のテレビシリーズから受け継がれてきた時間と、それぞれの記憶や想いが重なり合うようなイメージで制作しました。



『少年とガンダム | 機動戦士ガンダム 50周年 -Road to 50- プロローグムービー』

監督：ハヤカワツクロ

音楽：PEOPLE 1「金字塔」

『少年とガンダム | 機動戦士ガンダム 50周年 -Road to 50- プロローグムービー』 : <https://youtu.be/-Dm-7u930DI>



50周年（2029年）までの作品展開

●『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM ZERO』劇場公開が決定

『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM ZERO』は、2024年1月26日（金）より公開された映画『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM』の前日譚で、『SEED FREEDOM』企画中にシリーズ構成・両澤千晶氏と森田繁氏、福田己津央監督によるシナリオで描かれます。本日のガンダムカンファレンスで新たな特報映像がお披露目され、「劇場作品」としての公開が決定したことが発表されました。

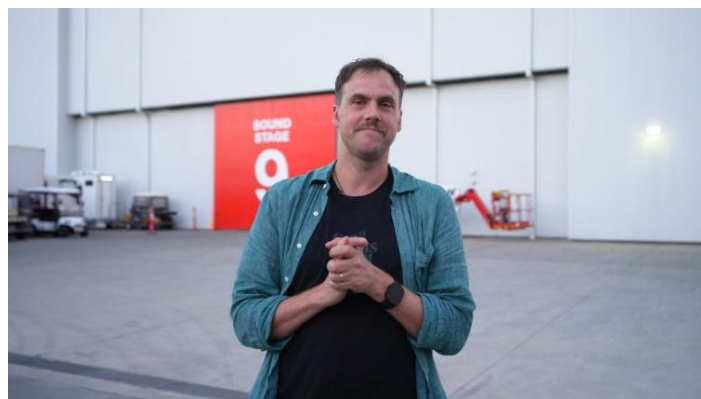
『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM ZERO』劇場公開決定：<https://youtu.be/FpCzB0jvbWM>



●実写映画版『GUNDAM（仮称）』ジム・ミックル監督のメッセージ動画を初公開

バンダイナムコフィルムワークス、Netflix、レジェンダリー・ピクチャーズ共同で制作する実写映画版『GUNDAM（仮称）』について、本日のガンダムカンファレンスで、監督を務めるジム・ミックルのメッセージが公開されました。

本作は、ジム・ミックル（『スイート・トウース：鹿の角を持つ少年』）が監督を務め、シドニー・スウィーニー（『恋するプリテンダー』『ユーフォリア／EUPHORIA』）とノア・センチネオ（『ブラックアダム』『ストリートファイター／ザ・ムービー』）が主演。さらに、ジャクソン・ホワイト、忽那汐里、ノンソー・アノジー、マイケル・マンド、ジャヴォン・“ワナ”・ウォルトン、オレクサンドル・ルディンスキー、アイダ・ブルック、ジェンマ・チュア＝トラン、ジェイソン・アイザックスといった多彩なキャストが勢揃いしています。



●『機動戦士ガンダム』リマスター制作決定

ガンダム 50周年を迎えるにあたり、原点である『機動戦士ガンダム』をより多くの皆さまにご視聴いただくためのリマスタープロジェクトが始動しました。2029年の展開を予定しています。

●『新機動戦記ガンダム W』新規映像の制作決定

『新機動戦記ガンダム W』の新規映像の制作が決定しました。昨年30周年を迎えた『新機動戦記ガンダム W』は、新規PVの公開やイベント、再上映なども行い、多くの方にご好評をいただいています。新規映像の詳細は後日お知らせします。

50周年（2029年）までのイベント展開

● 50周年記念イベント「GUNDAM-Con」27年1月幕張で開催 各種世界大会が集結

ガンダムシリーズ50周年に向けて、2027年1月に幕張メッセでセレブレーションイベント「GUNDAM-Con」を開催します。「GUNDAM-Con」は“ファンの皆さまと共に創る”をコンセプトに、第1回以降も世界各地で実施予定です。ガンダムシリーズを手掛けるクリエイターの参加や、作品をより深く楽しめる展示・体験コーナーをはじめ、プラモデル、カード、ゲームなどの分野で個別で実施していた世界大会を同イベント内で開催予定です。

日時	2027年1月9日（土）～2027年1月11日（月・祝）（予定）
会場	幕張メッセ 国際展示場 展示ホール10・11
入場料	有料／事前抽選（予定）
主催	バンダイナムコグループ ガンダムプロジェクト
公式サイト	https://gundam-official.com/feature/gundam-con/

●「富野由悠季展（仮）」2029年 東京国立博物館で開催決定

ガンダム50周年となる2029年に、東京国立博物館で「富野由悠季展（仮）」を開催します。1979年に放送を開始したTVシリーズ『機動戦士ガンダム』をはじめ、ガンダムシリーズを手掛けた富野由悠季の軌跡を振り返る展示会です。詳細は後日お知らせします。

●ガンダムランドマーク構想

ガンダムランドマーク構想がスタートします。世界中のファンの方が足を運びたいくなるような“ガンダムの新しい施設”を日本に作る予定です。詳細は後日お知らせします。

●「実物大ユニコーンガンダム立像」フィナーレ

2017年9月より、8年11カ月にわたってお台場で親しまれてきた「実物大ユニコーンガンダム立像」（東京都江東区）は、2026年8月末をもって展示を終了します。8月末のフィナーレに向けて、新たなデカール装飾を施した姿で展示するほか、さまざまな催しを予定しています。詳細は以下の公式サイトでお知らせします。

「実物大ユニコーンガンダム立像」公式サイト：

<https://www.unicorn-gundam-statue.jp/>



※装飾のイメージ

●ガンダムIP×地域活性「ガンダムお祭りプロジェクト」スタート

2024年以降「福岡 博多祇園山笠」や「北海道 さっぽろ雪まつり」と、IP×地域活性の一環として地元のお祭りへ出展。お祭りを楽しみにされている地元の皆さまや、各地のガンダムファンの皆さまに楽しんでいただきました。2026年度は、本企画を「ガンダムお祭りプロジェクト」として、更に拡大。郷土で愛されるお祭りにガンダムが出展することで、地域の魅力を引き出し、ご当地で愛されるガンダムを目指します。今後の開催予定は以下の公式サイトでお知らせします。

「ガンダムお祭りプロジェクト」公式サイト：

<https://gundam-official.com/feature/omatsuri-p/>



日本記念日協会より正式認定 毎年4月7日を「ガンダムの日」に制定

「ガンダム 50周年プロジェクト」の一環として、毎年4月7日を「ガンダムの日」とすることを一般社団法人 日本記念日協会に申請し、記念日として正式に登録認定されました。日付は『機動戦士ガンダム』のアニメーション初回放送日が1979年4月7日（土）だったことにちなみます。今後、毎年4月7日にはさまざまな施策を展開予定です。



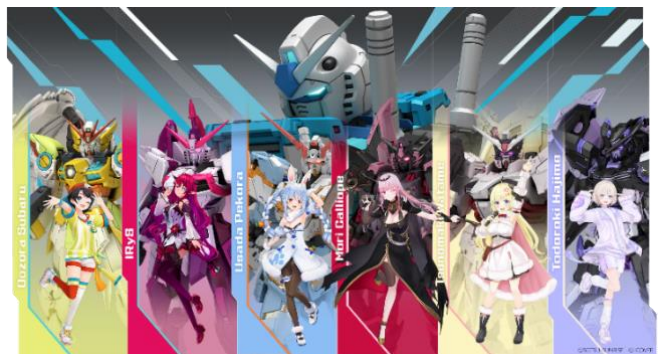
日本記念日協会様（左）より
チーフガンダムオフィサー 榊原（右）へ
登録証が授与されました

「GUNDAM」×「hololive production」スペシャルコラボレーション企画

カバー株式会社とバンダイナムコグループ横断で企画・コンテンツを展開する「GUNDAM」×「hololive production」のスペシャルコラボレーション。本日のガンダムカンファレンスで、情報解禁第2弾のコラボタレントとオリジナルカラーのモビルスーツを発表しました。また、情報解禁第1弾のコラボタレントのパイロットスーツとミニキャラ（通称“ぬいアーマー”）、エンブレムのデザインなども公開しました。

「GUNDAM」×「hololive production」スペシャルコラボレーション 続報：<https://youtu.be/b9JHMOT-QXs>

- 第2弾コラボタレントとオリジナルカラーのモビルスーツ
- ウイングガンダムゼロ EW【大空スバル Ver.】
- ユニコーンガンダム【兔田ぺこら Ver.】
- プロヴィデンスガンダム【角巻わため Ver.】
- ガンダムエピオン【森カリオペ Ver.】
- デスティニーガンダム【IRyS Ver.】
- ガンダムアストレイ ゴールドフレーム天ミナ【轟はじめ Ver.】



第1弾 パイロットスーツ



第1弾 ミニキャラデザイン



第1弾 エンブレム

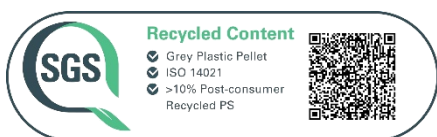
「GUNDAM」×「hololive production」スペシャルコラボページ：<https://gundam-official.com/feature/ghl/>

【サステナビリティ】 日本企業初 使用済ランナーを配合したプラモデル原料が「SGS グリーンマーク認証」を取得

バンダイナムコグループでは、2021年4月から「ガンバラリサイクルプロジェクト」を推進してきました。「ガンバラリサイクルプロジェクト」は、ガンバラのランナー（プラモデルの枠の部分）を回収し、新たなガンバラへと循環させる取り組みです。ファンの皆さまのご協力により、2021年4月から2026年3月までに約174トンの使用済ランナーを回収しています。

このたび、使用済ランナーを配合した原料が「SGS グリーンマーク認証」を取得しました。SGS グリーンマークとは、品質に関わる試験、検査、認証を行う国際的な認証機関であるSGSが、製品の環境への配慮や安全性を証明する認証マークです。日本企業がリサイクル原料に関するSGSグリーンマーク認証を取得するのは初の事例です。

これまで回収したランナーは主にダーク系の単色エコプラを用いた体験キットに活用してきましたが、原料の開発を進め、通常のプラスチック原料に回収ランナーを10%配合し、再着色した原料を使うことで多色エコプラの量産が可能となりました。今後この新開発の原料においてもSGSグリーンマークを取得し、さまざまな商品に活用していく予定です。



※画像は開発中のサンプルです

【公式サイト】

発表会「ガンダムカンファレンス 2026 SPRING」視聴 URL : <https://youtu.be/GLQCQDAOK6c>

※画像はすべてイメージです。

※プレスリリースの内容は発表日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。

©サンライズ

©SOTSU・SUNRISE © COVER

【各種 英語版「GUNDAM CHANNEL INTL」のご視聴はこちら】



Gundam Conference SPRING 2026

<https://youtu.be/tX8NQa1WWic>

A boy with GUNDAM | The 50th Anniversary of "Mobile Suit Gundam" -Road to 50- Prologue Movie

<https://youtu.be/Zt62nsFLqA0>

Mobile Suit Gundam SEED FREEDOM ZERO | Coming to theaters in Japan

<https://youtu.be/3ciyh9S5fEI>

Gundam x Hololive production Special Collaboration Update

<https://youtu.be/jzqPxwf8qa4>